

卷4 大日本彥耜友天皇 懿德天皇

大日本彥耜友天皇 磯城津彥玉手看天皇第二子也 母曰淳名底仲媛命 事代主神孫 鴨王女也

磯城津彥玉手看天皇十一年春正月壬戌(BC538.01) 立爲皇太子 年十六 卅八年冬十二月 磯城津彥玉手看天皇崩(BC511.12.06)

(BC510.02.04)

元年春二月己酉朔壬子 皇太子即天皇位

秋八月丙午朔 葬磯城津彥玉手看天皇於畝傍山南御陰井上陵

九月丙子朔乙丑 尊皇后曰皇太后 是年也 太歲辛卯(BC510)

(BC509.01.05)

二年春正月甲戌朔戊寅 遷都於輕地 是謂曲峽宮

二月癸卯朔癸丑 立天豐津媛命爲皇后 【一云 磯城縣主葉江男弟猪手女泉媛 一云 磯城縣主太真稚彥女飯日媛也】

后 生觀松彥香殖稻天皇 【一云 天皇母弟武石彥奇友背命】

(BC489.02.12)

廿二年春二月丁未朔戊午 立觀松彥香殖稻尊 爲皇太子 年十八

(BC477.09.08)

卅四年秋九月 甲子朔辛未 天皇崩

卷4 觀松彥香殖稻天皇 孝昭天皇

觀松彥香殖稻天皇 大日本彥耜友天皇太子也 母皇后天豐津媛命 息石耳命之女也

天皇 以大日本彥耜友天皇廿二年春二月丁未朔戊午(BC488.02.12) 立為皇太子

卅四年秋九月 大日本彥耜友天皇崩 明年冬十月戊午朔庚午(BC476.10.13) 葬大日本彥耜友天皇於畝傍山南織沙谿上陵

(BC475.01.09)

元年春正月丙戌朔甲午 皇太子即天皇位 夏四月乙卯朔己未 尊皇后曰皇太后 秋七月 遷都於掖上 是謂池心宮 是年也 太歲丙寅

(BC447.01.03)

廿九年春正月甲辰朔丙午 立世襲足媛為皇后【一云 磯城縣主葉江女淳名城津媛 一云 倭國豐秋狹太媛女大井媛也】

后生天足彥國押人命 日本足彥國押人天皇

(BC408.01.14)

六十八年春正月丁亥朔庚子 立日本足彥國押人尊 為皇太子 年廿

天足彥國押人命 此和珥臣等始祖也

(BC393.08.05)

八十三年秋八月丁巳朔辛酉 天皇崩

卷4 日本足彦國押人天皇 孝安天皇

日本足彦國押人天皇 觀松彦香殖稻天皇第二子也 母曰世襲足媛 尾張連遠祖 瀛津世襲之妹也

天皇 以觀松彦香殖稻天皇六十八年春正月 立爲皇太子 八十三年秋八月 (BC391.08.05\*) 觀松彦香殖稻天皇崩 \*(太歲己丑(BC392)より逆算)

(BC392.01.27)

元年春正月乙酉朔辛亥 皇太子即天皇位 秋八月辛巳朔 尊皇后曰皇太后 是年也 太歲己丑 (BC392)

(BC391.10)

二年冬十月 遷都於室地 是謂秋津嶋宮

(BC367.02.14)

廿六年春二月己丑朔壬寅 立姪押媛爲皇后 [一云 磯城縣主葉江女長媛 一云 十市縣主五十坂彦女五十坂媛也]

后生 大日本根子彦太瓊天皇

(BC355.08.14)

卅八年秋八月丙子朔己丑 葬觀松彦香殖稻天皇于掖上博多山上陵

(BC317.01.05)

七十六年春正月己巳朔癸酉 立大日本根子彦太瓊尊 爲皇太子 年廿六

(BC291.01.09)

百二年春正月戊戌朔丙午 天皇崩

卷4 大日本根子彥太瓊天皇 孝靈天皇

大日本根子彥太瓊天皇 日本足彥國押人天皇太子也 母曰押媛 蓋天足彥國押人命之女乎

天皇 以日本足彥國押人天皇七十六年春正月 立為皇太子

百二年春正月 日本足彥國押人天皇崩 (BC291.01.09)

秋九月甲午朔丙午 葬日本足彥國押人天皇于玉手丘上陵 冬十二月癸亥朔丙寅 皇太子遷都於黑田 是謂廬戶宮

(BC290.01.12)

元年春正月壬辰朔癸卯 太子即天皇位 尊皇后曰 皇太后 是年也 太歲辛未(BC290)

(BC289.02.11)

二年春二月丙辰朔丙寅 立細媛命 為皇后【一云 春日千乳早山香媛 一云 十市縣主等祖女真舌媛也】

后生大日本根子彥國牽天皇

妃倭國香媛【亦名 糸互某姊】生倭迹迹日百襲姬命 彥五十狹芹彥命【亦名 吉備津彥命】倭迹迹稚屋姬命

亦妃糸互某弟 生彥狹嶋命 稚武彥命 弟稚武彥命 是吉備臣之始祖也

(BC255.01)

卅六年春正月己亥朔 立彥國牽尊 為皇太子

(BC215.02.08)

七十六年春二月丙午朔癸丑 天皇崩

大日本根子彦國牽天皇 大日本根子彦太瓊天皇太子也 母曰細媛命 磯城縣主大目之女也

天皇以大日本根子彦太瓊天皇卅六年春正月 立爲皇太子 年十九

七十六年春二月 大日本根子彦太瓊天皇崩

(BC214.01.14)

元年春正月辛未朔甲申 太子即天皇位 尊皇后曰皇太后 是年也 太歲丁亥 (BC214)

(BC211.03.11)

四年春三月甲申朔甲午 遷都於輕地 是謂境原宮

(BC209.09.06)

六年秋九月戊戌朔癸卯 葬大日本根子彦太瓊天皇于片丘馬坂陵

(BC208.02.02)

七年春二月丙寅朔丁卯 立鬱色謎命爲皇后 后生二男一女

第一曰大彥命 第二曰稚日本根子彦大日日天皇 第三曰倭迹迹姬命 【一云 天皇母弟 少彥男心命也】

妃伊香色謎命 生彥太忍信命

次妃河內青玉繫女埴安媛生武埴安彥命

兄大彥命 是阿倍臣 膳臣 阿閉臣 狹狹城山君 筑紫國造 越國造 伊賀臣 凡七族之始祖也

彥太忍信命 是武內宿禰之祖父也

(BC193.01.14)

廿二年春正月己巳朔壬午 立稚日本根子彦大日日尊 爲皇太子 年十六

(BC158.09.02)

五十七年秋九月壬申朔癸酉 大日本根子彦國牽天皇崩

卷4 稚日本根子彦大日日天皇 開化天皇

稚日本根子彦大日日天皇 大日本根子彦國牽天皇第二子也 母曰鬱色謎命 穗積臣遠祖鬱色雄命妹也

天皇 以大日本根子彦國牽天皇廿二年春正月 立爲皇太子 年十六

五十七年秋九月大日本根子彦國牽天皇崩

冬十一月辛未朔壬午 太子即天皇位

(BC157.01.04)

元年春正月庚午朔癸酉 尊皇后曰皇太后

冬十月丙申朔戊申 遷都于春日之地【春日 此云箇酒鵝】是謂率川宮【率川 此云伊社箇波】是年也 太歲甲申(BC157)

(BC153.02.06)

五年春二月丁未朔壬子 葬大日本根子彦國牽天皇于劔池嶋上陵

(BC152.01.14)

六年春正月辛丑朔甲寅 立伊香色謎命爲皇后【是庶母也】后生御間城入彦五十瓊殖天皇

先是 天皇 納丹波竹野媛爲妃 生彦湯產隅命【亦名 彦蔣簀命】

次妃和珥臣遠祖姥津命之妹姥津媛生彦坐王

(BC130.01.05)

廿八年春正月癸巳朔丁酉 立御間城入彦尊 爲皇太子 年十九

(BC98.04.09)

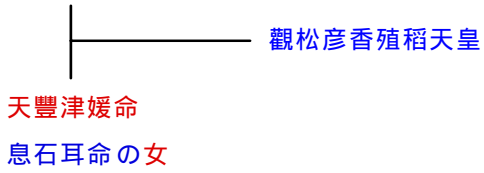
六十年夏四月丙辰朔甲子 天皇崩

冬十月癸丑朔乙卯 葬于春日率川坂本陵【一云 坂上陵 時年百十五】

日本書紀卷第四

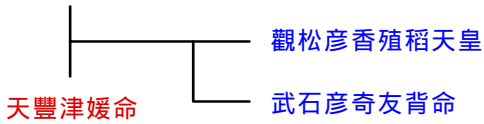
大日本彦耜友天皇 書紀の系図 本文

大日本彦耜友天皇



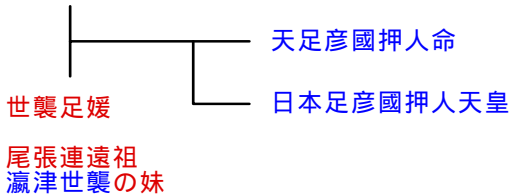
大日本彦耜友天皇 書紀の系図 一云

大日本彦耜友天皇



觀松彦香殖稻天皇 書紀の系図 本文

觀松彦香殖稻天皇



瀛津世襲は先代旧事紀天孫本紀によれば瀛津世襲命、またの名を葛木彦命という。

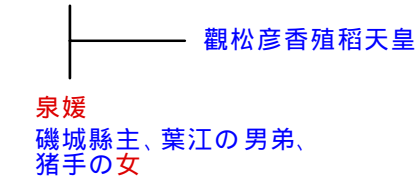
掖上、池心宮

天足彦國押人命 此和珥臣等始祖

掖上、博多山上陵 (死後38年)

大日本彦耜友天皇 書紀の系図 一云

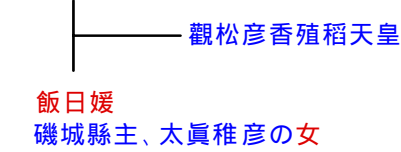
大日本彦耜友天皇



輕の地、曲峽宮

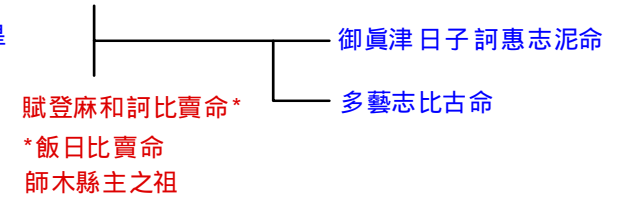
畝傍山南織沙谿上陵

大日本彦耜友天皇



大倭日子金且友命 古事記の系図

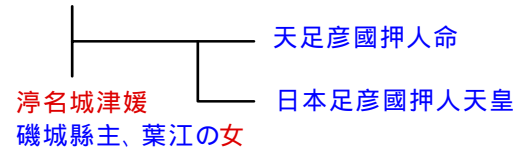
大倭日子金且友命



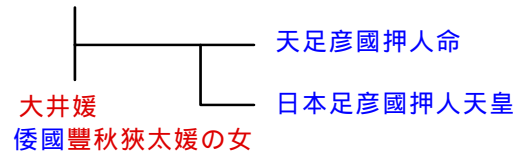
當藝志比古命は血沼別、多遲麻の竹別、葦井の稻置の祖

觀松彦香殖稻天皇 書紀の系図 一云

觀松彦香殖稻天皇

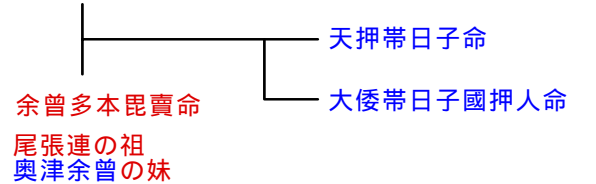


觀松彦香殖稻天皇



御眞津日子訶惠志泥命 古事記の系図

御眞津日子訶惠志泥命

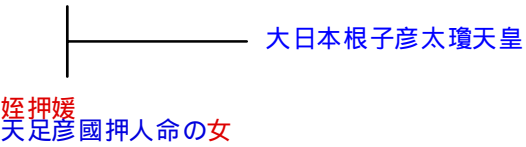


天押帶日子は、春日臣、大宅臣、粟田臣、小野臣、柿本臣、壹比韋臣、大坂臣、阿那臣、多紀臣、羽栗臣、知多臣、牟耶臣、都怒山臣、伊勢の飯高君、壹師君、近つ淡海國造の祖也

師木津日子玉手見命の三男、師木津日子命が伊賀、名張、美濃そして淡路に展開していた。

日本足彦國押人天皇 書紀の系図 本文

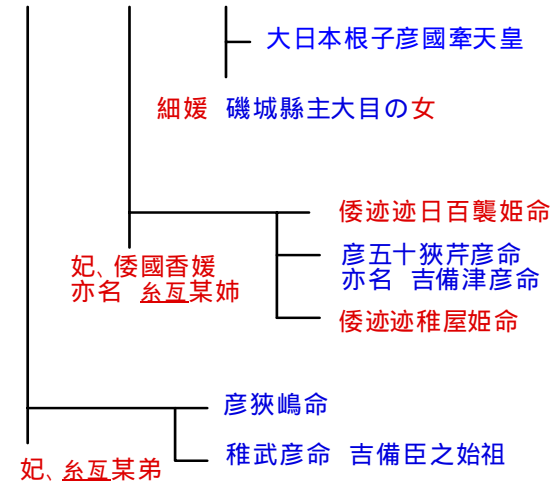
日本足彦國押人天皇



室の地、秋津嶋宮  
掖上、玉手丘上陵

大日本根子彦太瓊天皇 書紀の系図 本文

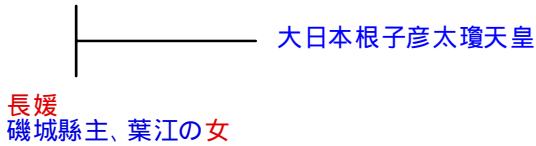
大日本根子彦太瓊天皇



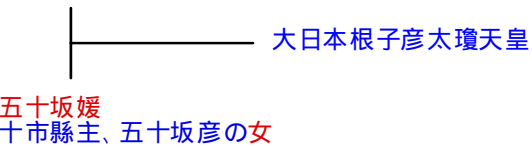
妃、糸互某弟  
立ちて皇太子と爲る。  
黒田、廬戸宮  
片丘、馬坂陵

日本足彦國押人天皇 書紀の系図 一云

日本足彦國押人天皇

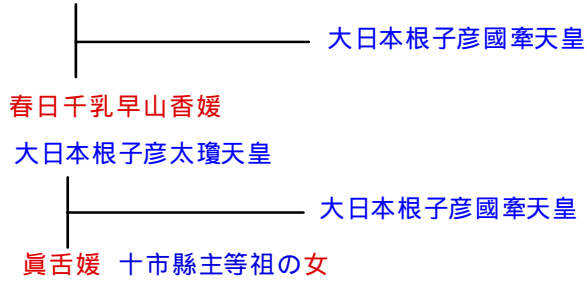


日本足彦國押人天皇



大日本根子彦太瓊天皇 書紀の系図 一云

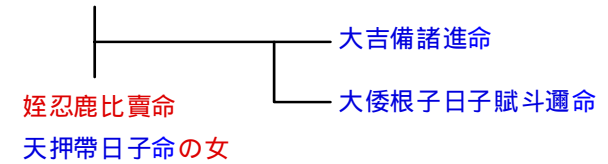
大日本根子彦太瓊天皇



妃の子等の  
吉備への進出

大倭帶日子國押人命 古事記の系図

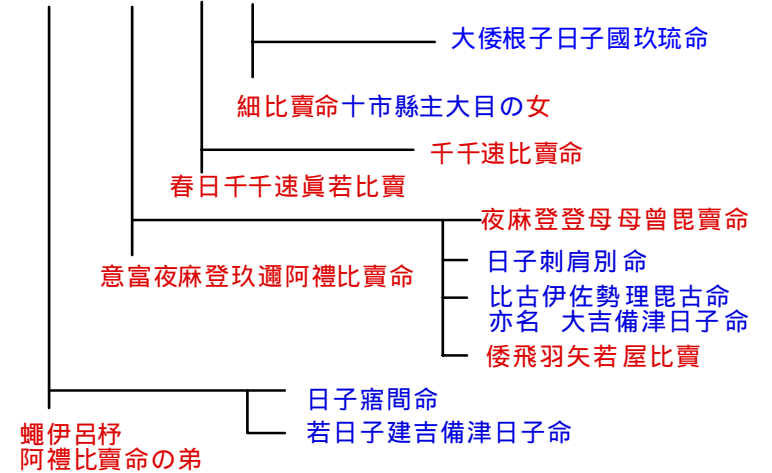
大倭帶日子國押人命



大吉備諸進命は和珥系となり、吉備に進出

大倭根子日子賦斗邇命 古事記の系図

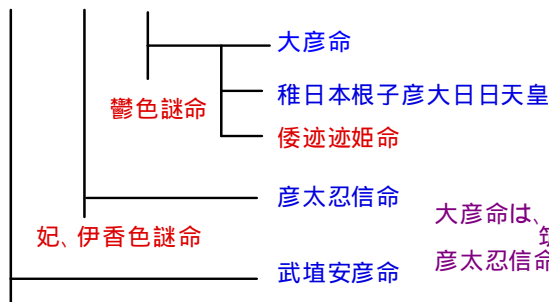
大倭根子日子賦斗邇





大日本根子彦國牽天皇 書紀の系図 本文

大日本根子彦國牽天皇



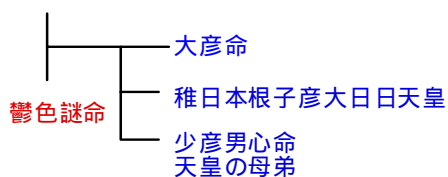
妃、埴安媛 河内青玉繫の女

輕の地、境原宮

劔池嶋上陵

大日本根子彦國牽天皇 書紀の系図 一云

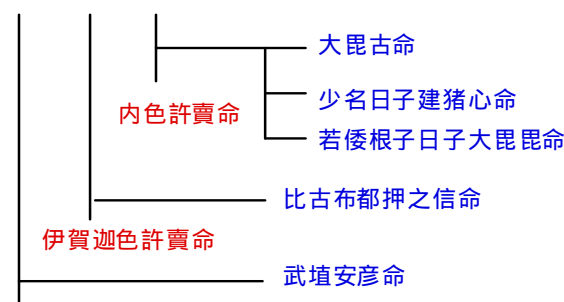
大日本根子彦國牽天皇



大彦命は、これ阿倍臣、膳臣、阿閉臣、狹狹城山君、筑紫國造、越國造、伊賀臣、凡て七族の始祖なり。彦太忍信命は、これ武内宿禰の祖父なり。

大倭根子日子國玖琉命 古事記の系図

大倭根子日子國玖琉命

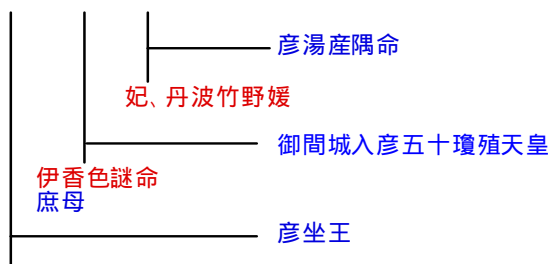


名波邇夜須毘賣 河内青玉の女

大毘古命の子、建沼河別命が阿倍臣等の祖、比古伊那許士別命が膳臣の祖。比古布都押之信命は尾張連等の祖、意富那毘の妹、葛城の高千那毘賣を娶り生める子が味師内宿禰、山代の内臣の祖。また、木國造の祖、宇豆比古の妹、山下影日賣を娶り生む子、建内宿禰

稚日本根子彦大日日天皇 書紀の系図 本文

稚日本根子彦大日日天皇



妃、姥津媛 和珥臣遠祖姥津命の妹

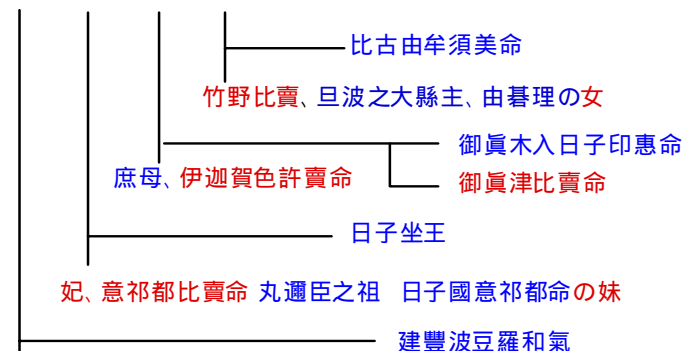
立ちて皇太子と爲る

春日の地、率川宮

春日、率川坂本陵

若倭根子日子大毘古命 古事記の系図

若倭根子日子大毘古命



妃、意祁都比賣命 丸邇臣之祖 日子國意祁都命の妹

建豐波豆羅和氣

亶鳥比賣、葛城之垂見宿禰の女

比古由牟須美王の子、大筒木垂根王。次に讃岐垂根王。二王。此の二王の女、五柱坐しき。日子坐王、山代の荏名津比賣(亦名、苅幡戸辨)を娶して、生める子、大倭王。次に小倭王。次に土夫美の宿禰王。三柱。春日の建國勝戸賣の女(名は沙本の大間見戸賣)を娶して生める子、沙本毘古王。次に袁邪本王。次に沙本毘賣命(亦名、佐波遲比賣)此の沙本毘賣命は、伊久米天皇の后と爲となりき。次に室毘古の王。四柱。近つ淡海の御上の祝がもち拜く、天御影神の女、息長水依比賣を娶して、生める子は丹波比古多多須美知能宇斯王。次に水穗眞若王。次に神大根王(亦名、八爪入日子王)。次に水穗五百依比賣。次に御井津比賣。五柱。

またその母の弟袁祁都比賣命を生める子、比婆須比賣の命。次に眞砥野比賣命。次に弟比賣命。次に朝廷別王。四柱。この朝廷別王は、三川の穂別の祖。この美知能宇斯王の弟、水穗の眞若王は、近つ淡海の安直の祖。

次に神大根王は、三野國の本樂國造、長幡部連の祖。

次に山代の大筒木眞若王、同母弟伊理泥王の女、丹波の阿治佐波毘賣を娶して生める子、迦邇米雷王。

この王、丹波の遠臣の女、名は高材比賣を娶して生める子、息長宿禰王。

この王、葛城の高額比賣を娶して生める子、息長帶比賣命。次に虚空津比賣命。次に息長日子王。三柱。

この王、吉備の品遲君、針間阿宗君の祖。また息長の宿禰王、河俣の稻依毘賣を娶して生める子、

大多牟坂王。こは多遲摩國造の祖なり。

上に所謂へる建豐波豆羅和氣王は、道守臣、忍海部の造、御名部造、稻羽の忍海部、丹波の竹野別、依網の阿毘古等之祖